

優秀賞

高校生部門〈自然災害〉

岩手県立大船渡高等学校2年

佐藤 玲花

## 数年後の自分へ

今、私は十七歳の高校二年生です。それから数年が経ち、私はすっかりとこの世界を生き抜いているのでしょうか。

覚えていますか、小学五年生だった時に起きた東日本大震災を。たくさんの方が命が奪われた時、私は何を思い、何をしたのか。そう、あの日を境に私の「夢」が生まれ、あの日があつたから世界と繋がる事ができた。数年後の私は、その時の気持ちを忘れてはいけな

いのです。

さて、数年後の私はどんな仕事をし、どんな関係を持ち、何を大切にしているのでしょうか。今の私は、願っています。「経験を無駄にすることなく、他人を認め受け入れ、自分のやりたいことをしているはずだ」と。まさか、中高生の時にした、あの経験を無駄になんてしていません。無償でカナダやアメリカに行き、人の温かさや優しさ、リーダーシップを学んだこと。ボランティアとして夢でもある歌を歌い、募金集めをする活動。親からお金を出してもらってまで行き、リーダーシップや地域事業について学んだこと。普段から私と関わってくださる方々など、掘り起こせば数えきれないほど、私は今、温かい人々や環境の中で、夢や就きたい仕事に向かって進んでいるのです。数年後の私のもとに。

数年後の私から見た今の私は、きっとどうしようもなく幼く思えるのかもしれませんが、でも、そんな幼い私でも、経験してきた事を活かせたと思う瞬間は、将来を生き抜く力を感じた瞬間でもあるのです。そんな瞬間を、数年経った今でも感じる事は出来ますか。

過去が嫌いだ。なんでもあの時、ああしたんだろう。後悔してもいいんです。それも私です。でもその思いを次に繋げて下さい。いつだって、その過去の善し悪しを決めるのは、未来の自分なんです。もしも悪い過去なら、数年後の私を変えて下さい。そうやって、生き抜く力を一緒に強くしていこう。